

厚生福祉



時事通信社

104-8178 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信社

昭和28年5月30日 第3種郵便物認可

毎週2回火・金曜日発行(但し祝日を除く)

購読料金 月額4,510円(税抜4,100円)

本誌掲載記事・写真などの無断複写、複製、転載を禁じます。

©時事通信社2024

©誌面内容に関するお問い合わせ(編集部)

kousei-dokusha@jiji.com

目次

サンフランシスコで見た貧困

明治大学名誉教授・青山 侑



近年ホームレスが急増したといわれるサンフランシスコ大都市圏の状況を、昨年从今年にかけて調べた。結論から先に記すと、シリコンバレー銀行の倒産はあったが、サンフランシスコ大都市圏全体における景気は悪くない。スタンフォード大学やサンノゼ大学など工科大やベンチャーキャピタルの集積で新規開業も多く、新興テクノロジー系の企業が集積している。グーグル、セールズフォース、X(旧ツイッター)、ウーバー、リフト、オープンAIなどIT企業が優秀な人材を大量に雇用し高給を支払っているようだ。名物のケールブーカーも観光客で溢れている。

しかし、テングーロイン地区など特定の地域で

は、たくさんホームレスがテントを張って住んでいる。まちを歩いている人に聞くと、住宅不足で家賃が高騰し、ホームレスが増えたとか。2018年の大麻合法化の結果、粗悪な麻薬も路上で売買されるようになり、中毒患者が増えた。冬なのに裸で走り回ったり、物を振り回すなど錯乱状態の人も多く、「ゾンビ通り」と呼ばれる通りもある。シエルトアの増設や麻薬患者の收容が間に合わず、警察も多忙で凶悪事件以外にはなかなか手が回らない。ダウンタウンでは、ホールフーズマーケットやデパートだけでなく中小商店も閉店が相次ぎ、荒廃に拍車を掛けている。

一方、市内のカストロ地区では、小さいが3階

建てでビクトリア調の状態も良好な木造建築が立ち並び、道路にごみは散乱せず、住みよいまちづくりが行われている。この地区のリーダーだったハーヴェイ・バーナード・ミルクは、ゲイであることをカミングアウトしてからサンフランシスコ市議員に選ばれた。LGBTQs(性的少数者など)の権利を守ることに努め、40歳代で暗殺されたが、差別のないまちをつくった。

また、サンフランシスコから近いサンノゼ市の旧日本人街では、第2次大戦中から戦後を通じて、人権を侵害された歴史を持つ日系移民の後継者たちが協力してまちを維持してきた。

高級住宅地でなくとも、人権侵害を許さないと強い意志を持つ人たちがつくってきたまちは荒廃しない。サンフランシスコの状況を見て、コミュニティの大切さを改めて痛感した。